

2020 年度

事業計画書

自 2020 年 4 月 1 日

至 2021 年 3 月 31 日

一般社団法人 日本建築あと施工アンカー協会

当協会は、建設分野（建築、土木、設備等）におけるあと施工アンカーの設計及び施工技術の向上を図り、あと施工アンカーの安全性を確保する為、技術者の養成、製品の認証、調査研究などの業務に取り組んでいます。本年度も引き続き「あと施工アンカーは、JCAAに聞け」と言って頂けるよう「あと施工アンカーの信頼を支えるシステムの構築と実行」に向けて取り組んでまいります。

一方、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、緊急事態宣言の発出など当協会の事業に重大な影響をもたらす事態も発生しています。当協会としては、感染拡大防止に最大限の協力と取り組みをしてまいります。その過程において、今年度の事業計画の見直し（修正、延期、中止等）が必要となることも考えられますが、会員各位におかれましては、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

I. 調査研究事業

1. 国立研究開発法人建築研究所との共同研究

官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）の一環として進められている復興住宅の早期整備（クイックコンストラクション）に資する技術開発にて実施される「あと施工アンカーの要求性能の検討」の共同研究に、昨年度に引き続き当協会として積極的に参画してまいります。

2. 標準試験法・同解説の改訂

製品認証及び製品性能を評価する試験法を定めた「標準試験法・同解説」の改訂検討を継続します。

3. 工事標準仕様書の作成

施主や設計事務所などの管理者が使用する重要な仕様書である「あと施工アンカー工事標準仕様書」の発行を目指します。

4. 協会刊行物の改訂

あと施工アンカーの基礎的な知識をまとめた技術資料など刊行物の改訂に向けて作業を開始します。

5. クリープ試験機小型化の検討

国立研究開発法人建築研究所において実施しているクリープ載荷試験の結果をまとめ試験機の小型化の検討を推進します。

6. 接着力試験

昨年までの実験結果をもとに、あと施工アンカーのJCAAとしての接着力試験方法の作成と公表を目指します。

7. プレ混合式品質確認方法の作成

「あと施工アンカー施工指針（案）」（接着系/注入方式/カートリッジ型）ープレ混合式（無機系）ーを発行し品質確認方法の普及活動を実施します。

8. その他アンカー類の分類と試験法の確立
JCAA 技術センターに設置されたその他アンカー用荷重変位測定試験機の有効活用と更なる調査検討により、その他のアンカー類の試験法の標準化を目指します。
9. あと施工アンカー歩掛の整理と普及
外部機関で実施した施工歩掛確認試験に基づき結果を整理するとともに、整理後は建設業界への普及活動を実施していきます。
10. コンクリートのあと施工アンカー工法の設計・施工指針（案）の改訂
2014年3月発刊後5年間の施工実績と積極的に進められてきている耐久性に関する調査研究成果、そして海外における耐久性に関する製品評価や設計方法から使用の条件や適用の範囲の再考と合わせて、あと施工アンカーに必要な評価項目および方法を設定するなど、指針（案）が使用者に分かり易い内容とするために標準編を中心とした改訂を土木学会に委託します。
11. 技術発表会
あと施工アンカーの安心・安全の確保に寄与する為、共同研究、委託研究等を積極的に推進します。また、共同研究、委託研究等により得られた技術的知見を広く発信する為、技術発表会の定例開催を目指します。

II. 技術者養成事業

1. 一般技術講習、資格試験、更新講習の実施
一般技術講習、資格試験、更新講習を実施します。また、接着系注入方式のあと施工アンカーの施工資格試験を実施します。
なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により、昨年度延期となった更新講習は今年度第3四半期に、春実技試験は今秋に実施する予定です。
2. 第2種あと施工アンカー施工士資格試験受験資格の変更(一般技術講習受講必須化)
施工技術者の更なる知識と技能の向上を図り、あと施工アンカーに対する信頼を高めることを目指すため、今年度より第2種あと施工アンカー施工士の受験資格に一般技術講習初級の受講を必須とします。
3. あと施工アンカー点検士（仮称）資格の創設
近年、多くの分野で求められている点検や診断に応える為、昨年度発行した「あと施工アンカー点検・診断要領（案）― 取付物固定用 ―」に基づき、あと施工アンカー点検士（仮称）資格を創設し、来年度からの実施を目指します。
4. あと施工アンカー技術者資格認定事業規程等の改定
第2種あと施工アンカー施工士の受験資格の変更や新資格の創設を踏まえ、あと施工アンカー技術者資格認定事業規程等の改定を行います。

5. 「登録基幹技能者講習実施」及び「建設技能者の能力評価」機関への登録

昨年度に引き続き、登録基幹技能者講習の実施機関及びあと施工アンカー施工技能者の能力評価機関の登録を目指します。これらを実現することで、前者は「登録あと施工アンカー基幹技能者」の資格保有者が輩出され、後者は「建設キャリアアップシステムのレベル2からレベル4」のレベル認定が行えるようになり、あと施工アンカー施工者の地位向上に寄与することが期待できます。

III. 製品認証事業

1. 製品認証基準の改訂

あと施工アンカー認証基準委員会で検討し、時代の変化に対応した製品認証基準の改訂を行います。

2. 注入式あと施工アンカーの認証基準の制定

当協会の認証製品に注入式あと施工アンカーが含まれることが望まれていることを踏まえ、注入式あと施工アンカーのタイプBの認証基準を制定します。

IV. 広報事業

1. 機関誌の発行

4月（既刊）および10月に発行を予定しています。

2. 図書の頒布

ホームページ、展示会やメディアを活用し、図書の頒布を拡大することで、あと施工アンカー技術の普及に努めてまいります。

3. 協会認知度向上

(1) 展示会への出展

本年は、次の展示会に出展し当協会の活動を紹介し、認知度の向上に努めます。

① ハイウェイテクノフェア 2020

日時：2020年11月5日（木）、6日（金）

場所：東京ビッグサイト

なお、毎年出展をおこなっていましたが下記の展示会は、新型コロナウイルス感染症の終息の目処が立たないため中止になりました。

JCI コンクリートテクノプラザ 2020

日時：2020年7月8日（水）、9日（木）、10日（金）

場所：広島国際会議場

(2) メディア

業界専門紙（誌）及びWeb(HP)を主軸にJCAAの3事業活動を配信（記事・広告など）し、当協会の存在意義と価値を訴求します。

4. 点検・診断要領（案）等講習会の開催

昨年度、福岡、大阪、東京で『あと施工アンカーの点検・診断要領（案）一取付物固定用一発行記念講習会』と題し実施した講習会を、今年度も北海道、東北、中部、中国、四国の各支部管内で実施します。（Eラーニングも検討）

V. その他の事業

1. 技術センター

あと施工アンカーの実技試験の開催のほか、設備の有効活用の拡大に努めてまいります。

2. 試験センター

あと施工アンカーに関する試験実施ができるよう自己適合宣言を行い、製品認証のための試験及び第三者機関としてあと施工アンカーの試験とその評価（あと施工アンカーの単体証明書発行）の実施を目指します。

3. 西日本分室

- ① 西日本研修センター開設に向け、平群町との長期定借契約締結、奈良県との開発(用途変更)許可協議、耐震・改修工事着手迄着実に進める予定です。
- ② 協会と分室の活動を強く内外に発信し、認知度向上に努めてまいります。

VI. 他団体との連携

本年度も以下の団体（50音順）の他、関係諸団体との連携および情報交換等を通じて、本協会の事業を推進するとともに、認知度の向上に努めます。

- ① 既存建築物耐震診断・改修等全国ネットワーク委員会
- ② 公益社団法人 空気調和・衛生工学会
- ③ 一般財団法人 建築保全センター
- ④ 一般社団法人 公共建築協会
- ⑤ 一般社団法人 構造調査コンサルティング協会
- ⑥ 公益社団法人 都市住宅学会
- ⑦ 公益社団法人 土木学会
- ⑧ 一般社団法人 日本建築学会
- ⑨ 一般財団法人 日本建築センター
- ⑩ 公益社団法人 日本コンクリート工学会
- ⑪ 一般社団法人 日本社会基盤安全技術振興協会
- ⑫ 一般社団法人 日本非破壊検査工業会
- ⑬ 国立研究開発法人 物質・材料研究機構
- ⑭ 公益社団法人 腐食防食学会

VII. 業務運営の改善等

1. IT インフラの強化

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言を受け、テレワークやテレビ会議を実施しました。今回の経験を踏まえ、今後の震災や災害時における事業継続を念頭に、IT インフラの強化を図ってまいります。

2. eラーニングの推進

IT インフラの強化と並行し、養成事業や点検・診断要領（案）等の講習会を会場が使用できない場合でも実施できるよう、eラーニングでも受講できる環境を整えてまいります。

VIII. 2020 年度予算

2020 年度の予算は、次ページのとおりです。